



教育目標

「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

NANBU



学校だより第10号

氷見市立南部中学校

令和2年2月14日

みんなちがって、みんないい

校長 扇谷 孝代

2月半ばとなり、現在、南部中学校では、3年生が中学校生活最後となる保護者会に臨んでいるところです。

これまで、1月の私立高校・高等専門学校推薦入試、2月の私立高校一般入試等、自らが選んだ進路への扉を開けるために、一人一人がそれぞれ努力してきたことと思います。中には、一番行きたかった進路への扉を既に開けている生徒もありますが、大方の生徒は今現在、まさに自分との戦いのまっただ中というところです。

そんな3年生を見ていて、ふと、頭に浮かんだ詩があります。

金子みすゞさんの、「わたしと小鳥と鈴と」という詩です。

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしの^{じべた}ように、地面をはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、
あの鳴る鈴はわたしの^{じべた}ように、たくさんうたは知らないよ。
鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

金子みすゞさんは、1903（明治36）年に山口県長門市に生まれました。大正から昭和の有名な童謡詩人の西条八十に「若き童謡詩人の巨星」とまで賞賛されながら、1930（昭和5）年に26歳の若さで世を去りました。幼いときから周囲に優しく、礼儀正しくて、いつも笑顔を絶やさない人だったそうです。いろいろなものを感じて深く考える中で、持ち前の優しさを漂わせる、独特の世界観をもつ詩が数多く生まれました。

この詩の中に出てくる「みんなちがって、みんないい」の言葉には、一人一人には必ずよさがあり、自分自身を大切に生きていってほしいという願いがあふれているように感じます。

もちろん、「みんなちがって、みんないい」は、南部中学生にも当てはまります。

3年生は3年間、南部中学生として、毎日の授業や家庭学習、部活動、学校行事や生徒会活動等に真摯に取り組んできました。その中で、必ずどの生徒もよさを伸ばしているはずで、ですから、自分のよさをしっかり見つめ、自信をもって堂々と、これからの試練にチャレンジしてほしいと願っています。



そして、1、2年生も「みんなちがって、みんないい」のです。これからますます、学校や家庭での生活の中で、自分のよさを探すとともに、相手のよさも分かる人になってほしいと思います。自分を愛することができる人は、人も愛することができます。

この南部中学校が今より一層、互いのよさを認め合い、尊敬し合うことのできる人の集う学校になってほしいと願っています。



栄光の記録

○令和元年度富山県をよくする会の表彰 個人の部 池田 覚

○第61回県小・中・高校生書初大会 特選 釣岡 悠也 菊地 暁生 越田 恵太

令和元年度アクションプラン年度末報告

AP1 主体的に学習を進め、互いの考えを深め合う生徒の育成 成果と課題

- 意識調査では、1学期に比べて2～3ポイント上昇した設問がほとんどである中、設問9の振り返りに関する項目が3ポイント低下している。学習内容の定着に向けて必要不可欠な振り返りや、終末における時間の確保を意識するとともに、振り返りの意義や多様な方法について、教師自身が再度確認する必要がある。
- 今後、思考・表現ツールを活用することで生徒の思考を更に深めるには、教員が介入する場面を適切に捉えて指導するという意識を高くもち、授業力を磨く必要がある。

生徒意識調査（2学期）	
意識調査項目	達成度
1 課題の解決に向けて、積極的に取り組むことができた。	94.8%
2 授業には、自分の思いや考えをもって参加することができた。	90.3%
3 授業では自分の思いや考えを伝えることができた。	72.3%
4 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、語の組み立て等を工夫して発表することができた。	71.0%
5 友達の思いや考えをしっかりと聞くことができた。	98.1%
6 友達の考えを踏まえて話し合うことができた。	92.9%
7 ペアやグループで話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができた。	92.9%
8 全体で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができた。	92.3%
9 授業の終わりには、学習課題を振り返ることができた。	77.3%
10 家庭学習では、1日平均1年生は70分、2年生は90分、3年生では120分以上学習できた。	76.3%

AP2 思いやりの心を大切に、よりよい集団を目指して行動する生徒の育成 成果と課題

- 相手のことを考えた言動や爽やかな挨拶、集団に対する貢献等を意識しながら学校生活を送っていると思われる。
- 実行委員会を中心とした生徒主体の活動に、ほとんどの生徒が前向きな姿勢で取り組んでいることがうかがわれる。生徒会執行部や委員会等の活動を通して、生徒の主体性や集団への所属意識を更に高め、次年度につなげたい。

生徒意識調査（2学期）	
意識調査項目	達成度
1 相手の気持ちを考えた言葉や行動を心がけた。	95.5%
2 自分から挨拶をしたり、挨拶を返したりした。	96.1%
3 よりよい学校にするために、自分にできることを考えながら委員会活動に取り組むことができた。	91.6%
4 思いやりの心をもって福祉施設の訪問に参加することができた（2年生のみ）。	98.0%

AP3 健康な生活を営む力を付けることができる生徒の育成 成果と課題

- ゼロメディア運動を通して、多くの生徒が定期考査に向けて学習時間を増やし、メディア利用時間を減らそうと心がけていることが分かった。しかし、睡眠時間の短い生徒がおり、健康管理を意識させるような声かけが更に必要である。
- 生徒会を中心に南中ネットルールの呼びかけを行っていたが、日常的に守ろうとする意識を高めることが課題である。ルールの見直しを図り生徒が主体的に取り組もうとする意識を高める必要がある。

生徒意識調査（2学期）	
意識調査項目	達成度
1 ゼロメディア運動期間中に、メディア利用時間を減らし、家庭学習を増やした。	92.9%
2 運動期間中は、睡眠時間をしっかりと確保した。	76.8%
3 南中ネットルールを守ろうと心がけた。	83.9%
4 とやまゲンキッズ作戦の結果や健康教室を通して、心身の健康について考え、自分の健康課題を改善するよう心がけた。	87.7%

学校評議員の皆様の意見より（抜粋）

- ゼロメディア運動期間中は、家族の協力も必要なのではないか。
- 部活動の時間が短くなったり休日が多くなったりしていることにより、子供たちが家族と触れ合う時間が長くなっているとしたら、それはよいことだと思う。
- 未来について、子供がこの先どの道を選ぶかということに対して手助けしたいものである。子供たちにはぜひ、自分ができることを探してほしい。

なお、詳細につきましては、南部中学校ホームページに掲載しますのでご覧ください。

ご存じですか？ゲーム障害 ～お子さんに、当てはまることはありませんか？～

2月6日に開催した第2回学校保健委員会の席で、学校医の先生から、「WHOが病気の名称や症状を示す『国際疾病分類』の最新版にゲーム障害を追加した」という情報をいただきました。

- (1) ゲームをする時間や頻度を自ら制御できない
- (2) ゲームを最優先する
- (3) 問題が起きているのに続ける

などといった状態が12カ月以上続き、社会生活に重大な支障が出ている場合に、ゲーム障害と診断される可能性があるそうです。ゲーム障害になると、朝起きられない、物や人にあたるなどといった問題が現れるとされています。

